

2024 年度（令和 6 年度）学校推薦型選抜（商業科等）問題

小 論 文

国際商経学部（経済学コース・経営学コース）

注意事項

1. 試験監督者の指示があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は表紙のほかに 2 ページあります。
3. 問題は「問題 1」と「問題 2」の 2 題あります。
4. 解答用紙は 4 枚あります。
5. 各解答用紙には氏名および受験番号の記入欄があります。試験監督者の指示に従い、すべての記入欄（氏名、受験番号いずれも 4 箇所ずつ）に記入してください。
6. 解答は解答用紙の所定の箇所に記入してください。
7. 解答用紙は横書きです。
8. 数字は 1 マスに 1 字ずつ記入してください。たとえば、10 は 2 マスを使って記入してください。
9. 解答用紙の裏面には記入しないでください。
10. 下書き用紙は 4 枚あります。
11. 解答時間は 120 分です。
12. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

問題1. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日本の観光業は、2020年（令和2年）新型コロナウイルス感染拡大による危機から、2022年（令和4年）後半に入り回復の兆しがみえ、賑わいを取り戻しつつある。しかし、国立社会保障・人口問題研究所による日本の将来推計人口（2023年（令和5年）4月26日公表）が示すように、少子高齢化が一層進行し、地方部の定住人口はますます減少していくと見込まれる。地域住民が雇用と収入を確保し経済的な潤いを楽しむ産業がなければ、定住人口の暮らしを維持し、地域社会・経済を将来にわたって持続させることは困難になる。

そこで、本稿では、ポストコロナの観光の鍵として、観光地の「稼ぐ力」の強化を採り上げる。今後の観光では、国内外の旅行者の関心や行動の多様化などを踏まえた、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」など「質」を重視した「稼ぐ力」を実現し、地域社会・経済の持続可能性を将来にわたって存立する役割が期待される。

観光地の「稼ぐ力」の「質」とは、全国の地域が大切に守り承継してきた豊かな自然環境や風景、景観、文化や伝統・歴史、人々の生活や郷土料理など、地域の住民にとって身近な日常の「暮らし」を反映することで向上させることが可能である。また、国内外の旅行者にとっても、こうした地域に根付いたコンテンツは、魅力的な非日常体験として価値が高まりつつある。

このようなコンテンツの磨き上げに当たっては、高齢化や過疎に直面する地方部でも、地域の住民が持つ多様な知恵が、新たな滞在の価値を生み出すことができる。例えば長年慣れ親しんだ地元へ愛着と誇りを持つ住民が「語り部」となる旅行者の暮らし体験や、移住者による起業、伝統工芸の匠の技などの多様な主体の参画により、世代を超えた「地域のストーリー」を紡ぎ出すことができる。

一方、宿泊業や旅行業、交通事業をはじめ観光産業が生み出す付加価値は、観光従事者の報酬や企業の観光DX等の再投資に繋がるとともに、上質なサービスを支える良質な中間投入の拡大を可能とし、経済・産業への生産波及効果による観光経済の好循環に寄与する。

以上のように、ポストコロナの「質」を重視した観光では、地域に根付いた日常の「暮らし」に関わるコンテンツが、国内外の旅行者にとって魅力的な非日常体験として価値が高まりつつある。この好機を生かし、地元へ愛着を持つ住民の世代を超えた参画と、地域の様々な産業や企業の異業種連携を図り、地域の特色を生かした観光地の「稼ぐ力」すなわち滞在価値を高めるとともに、実現した利益を賃金上昇や人材確保、税収増などの地域と住民へ還元する好循環が重要である。

（出典：『令和5年観光白書』より抜粋・一部修正）

〈用語〉 観光DX=デジタル技術を活用して、観光の価値を高め、多様な「観光コンテンツ」を創り出す取り組み

- 問1. 下線部の『「質」を重視した「稼ぐ力」』とはどのようなものを意味するのか、説明しなさい。
- 問2. 観光地の稼ぐ力を強化することは、どのような効果をもたらすと考えられるか、本文を参考に述べなさい。
- 問3. 地域における稼ぐ力を高めるためにどのような取り組みが必要であるのか、自分自身が住んでいる地域の事例や取り組む主体（行政、企業等）に応じて、あなたの考えを具体的に述べなさい（500文字以内）。

問題 2. 次の英文を読んで、後の問いに日本語で解答しなさい。

To figure out whether a stranger's newborn is a boy or girl, we often look for the universal clue — a scattering of pink for a girl, or blue for a boy. But many centuries ago, color — particularly blue and pink — weren't an indicator of gender, but rather caste and class.

In the Renaissance, pink was a particularly treasured dye. And because it was expensive, pink was used by the male elite. Blue was also a prized pigment. From the 15th century this expensive pigment was often used for depicting the woman who most represented honor and virtue — the Virgin Mary.

Up until the early 20th century, baby clothes were mainly neutral-colored. At the time, there was an emphasis on practicality — quick nappy changes and bleaching were important for working-class mothers who hand-washed clothing that was shared between multiple children.

After World War II, men wanted their jobs back and governments encouraged women to return to their roles in the domestic sphere. Marketers focused on selling goods to nuclear families, which had the effect of reinforcing separate gender roles in the household. The easiest way to delineate gender roles from birth was through colors. Dressing babies in certain colors produces rigid understandings of gender roles from an early age.

Women's fashion and make-up of the 1950s also played a role. Coming out of a war, it's not hard to understand the charm of health and vivacity. Make-up could help women look in good health. Into puberty and beyond when a girl is exploring her gender, most girls will engage with femininity in varying degrees. In our culture, the default way to practice femininity is through appearance and, especially, the wearing of pink.

As a result of this color code, many young girls will seek out pink things to express their femininity, which fuels companies to sell pink items to girls, perpetuating the cycle.

(出典) Gillian Aeria, "Why Boys are Blue and Girls are Pink," *Pursuit*, May 2, 2016, University of Melbourne (一部抜粋・変更)

(注) a scattering of 散在する, caste 身分, dye 染料, pigment 顔料 (絵の具), depict 描く, Virgin Mary 聖母マリア, practicality 実用性, nappy おむつ, bleaching 漂白, domestic sphere 家庭内, Marketers マーケティング担当者, delineate 叙述する, charm 魅力, vivacity 快活, puberty 思春期, femininity 女性らしさ, default 通常使用される, perpetuate 永続させる

(1) カラーコードの変遷とその理由を 300 字程度で要約しなさい。

(2) 本文の内容を踏まえて、カラーコードの現状についてあなたの意見を 500 字以内で述べなさい。